

## 株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日
基準日	定時株主総会 1月31日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定める。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	野村證券株式会社 全国本支店 日本経済新聞

### 【お知らせ】

- 株式に関するお手続き用紙のご請求について  
株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話並びにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。  
電話 0120-244-479（三菱UFJ信託銀行 証券代行部）  
0120-684-479（三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部） } 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

- 配当金のお受取方法について  
振込口座をご指定されておられない株主様には従来、「郵便振替支払通知書」にて配当金をお受取り頂いておりましたが、平成19年10月1日に日本郵政公社が民営化されたことに伴い、「郵便振替支払通知書」に代わって「配当金領収証」にて配当金をお受取り頂くこととなりました（従来のとおり、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口にて配当金をお受取り頂くことができます）。

〒157-0073  
東京都世田谷区砧 五丁目7番1号  
**国際放映株式会社**  
電話 (03) 3749-7213

環境にやさしく……本紙は再生紙を使用しております。



この事業報告は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。

# 第70期

## 事業報告

平成19年2月1日

▼  
平成20年1月31日

証券コード：9604



国際放映は、スタジオ集合体「東京メディアシティ」を擁する制作会社です。  
映画・テレビ放送番組等の制作・販売並びにスタジオのレンタル事業等を行っております。  
当社は今年で創立60周年を迎えます。これからも社業である映像ビジネスを通じて日本人  
の心と文化の醸成に貢献出来ますよう努力をし続けてまいります。

## Contents

ごあいさつ

2

事業の紹介

3

トピックス

5

コンテンツ事業紹介

6

連結財務諸表

7

単体財務諸表

9

会社概要/株式状況

10

Production and sales of movie and Television Broadcasting program, etc.



密会の宿

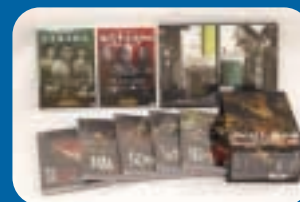


金色の翼



新・警視庁女性捜査班

Rental of studio



当期に発売したDVD

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
当社は昨年、長くテナントとしてスタジオを借りていただいた㈱フジテレビジョンが自社の新スタジオに移転したことに伴い、2つのスタジオの改修工事を行い、新たに当社の運営するTMC-A1、TMC-A2スタジオとして再スタートさせました。おかげ様で当社が従来より運営いたしておりましたTMC-1スタジオと合わせた3つのスタジオは、それぞれの特色を活かして稼働いたしております。引き続き賃貸借契約をいただいております㈱東京放送の緑山スタジオ・シティ、関西テレビ放送㈱のレモンスタジオとも協力・提携し、魅力溢れるスタジオ集合体としての「東京メディアシティ」を今後とも繁栄させるべく、従業員一同、日々努力いたしております。  
株主の皆様には、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 新江 幸生

## ●当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出産業を中心とした好調な企業業績を背景に設備投資も順調に増加するなど、景気の回復基調が続きました。しかしながら、年度後半における原油価格の高騰やサブプライムローン問題による米国経済の景気減速、円高の進行などにより先行き不透明感は払拭できない状況にあります。

こうした経済環境の下、当社グループの属する映像制作業界におきましてはメディア視聴環境の急速な多様化に伴い、多メディア化に対応したコンテンツビジネス競争が一段と激しさを増しております。

当社及び当社グループは到来した本格的デジタル・多メディア時代を勝ち抜くため、営業・制作力の強化と制作コスト及び全体経費の削減に努め、売上高の拡大と収益力の向上に取り組みました。

# 事業の紹介

## 映像事業

テレビ作品は、ドラマ・バラエティ・情報番組等の各ジャンルで、局制作が増加傾向にあり、映像制作会社は厳しい受注競争の中に置かれています。そうした中で、当社グループは前連結会計年度に引き続き、次のとおり受注制作を行いました。

まず、ドラマ番組では、東京放送の月曜ゴールデン「占い師みすず 事件は運命の彼方にNo.2・No.3」、テレビ朝日の土曜ワイド劇場「法医学教室の事件ファイルNo.24・No.25・No.26」「新・警視庁女性捜査班No.2」、テレビ東京の水曜ミステリー9「密会の宿No.6」、東海テレビ放送の開局50周年記念新春スペシャルドラマ「となりのクレーマー」と連続ドラマ「金色の翼」全65話を各々制作いたしました。

また、テレビ朝日のスペシャルドラマ「テレサ・テン物語～私の家は山の向こう～」を共同制作し、テレビ朝日の第6回テレビ朝日21世紀新人シナリオ大賞ドラマ「彼女との正しい遊び方」と土曜ミッドナイトドラマ「もうひとつの象の背中」全4話にも制作協力いたしました。

さらに、情報番組では、テレビ東京の土曜スペシャル「漁師が営む 地魚三昧の宿No.4」と日曜ビッグバラエティ「全国！これが噂の大御殿No.20・No.21」、横浜ケーブルビジョンの「かながわ 匠の技と街めぐり」と「かながわ らく楽ウォーキング」シリーズ11作品、ジェイコムせたまの「自由散歩」、ジャパンイメージコミュニケーションズの旅チャンネル「徹底活用！鉄道周遊切符の旅」シリーズ3作品とMONDO21「鉄道車両列伝」シリーズ7作品、日本映画衛星放送の日本映画専門チャンネル「映画と酒と豆腐と～中川信夫、監督として人間として～」を各々制作いたしました。

また、横浜市立大学の「国際都市・横浜の知的創造拠点へ」日本語版、英語版、日立インターメディアックスの「日立産機システム会社案内ビデオ」中国語版、東武鉄道の「株主総会用ビデオ」、東京メディアエンタープライズの初級手話講座「手話でつながろう心と心」の制作も行いました。

コンテンツ営業は、引き続き、当社のテレビ映画及び劇場用映画を各テレビ局・CATV局・衛星放送各社・ブロードバンド等のメディアに販売するとともに、ビデオソフトやDVDソフトの制作販売を行いました。

なお、連結子会社(株)東京メディアエンタープライズもBS局やCS局への番組販売の他、独自に取得した映像ソフトで販売実績をあげるなど、代理店としての業務を拡大、充実させています。

当連結会計年度における映像事業部門の売上高は、前期の「西遊記」DVDに匹敵するような売上、利益ともに好成績の作品に恵まれなかったこともあり、1,293百万円（前期比17.4%減）となりました。



法医学教室の事件ファイル



テレサ・テン物語



となりのクレーマー



占い師みすず 事件は運命の彼方に



漁師が営む 地魚三昧の宿

## スタジオ経営事業

平成19年9月をもって(株)フジテレビジョンとのスタジオ賃貸借契約は終了いたしました。それ以外の長期賃貸借契約のスタジオ収入につきましては、付帯収入を含めほぼ順調に推移いたしました。また、短期レンタルのTMC-1スタジオ及び10月に改修工事を行い11月より自主運営することになったTMC-A1、A2スタジオにつきましては、日本テレビ放送網(株)との新たなレンタル契約締結などにより順調なスタートを切ることができました。

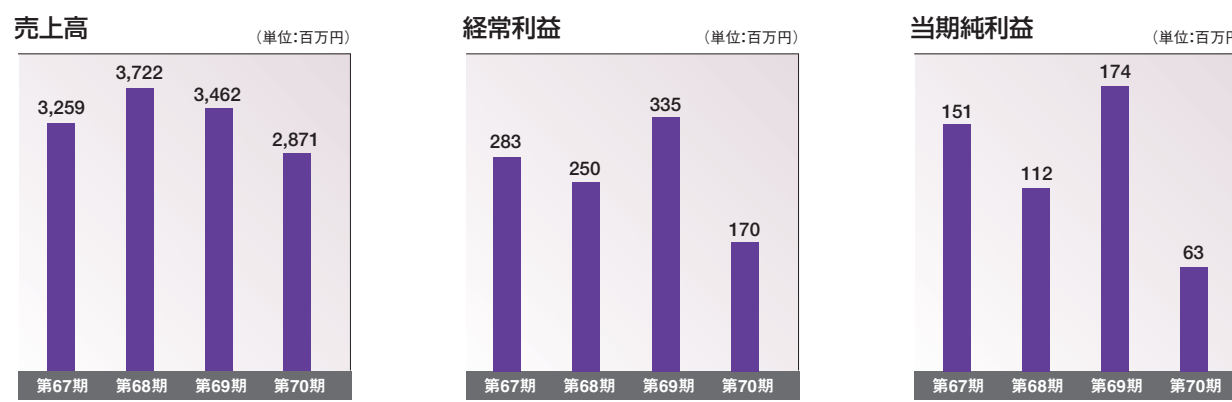
なお、連結子会社(株)ケイエッチケイアートも、当社スタジオの自主運営業務に伴って、営業展開及び美術制作の体制を強化いたしました。

この結果、当連結会計年度におけるスタジオ経営事業部門の売上高は1,578百万円（前期比6.6%減）となりました。

以上により、当連結会計年度における当社グループの営業利益は197百万円（前期比43.9%減）、経常利益は170百万円（前期比49.1%減）となり、さらにTMC-A1、A2スタジオの改修工事費用等の特別損失が発生し、当期純利益は63百万円（前期比63.8%減）となりました。



## 連結業績の推移





## TMC-1 スタジオに加え . . . . .

### 新たに TMC-A1 スタジオ営業開始 TMC-A2

TMC-A1、TMC-A2スタジオは、平成19年10月から新たに国際放映のスタジオとして生まれ変わりました。営業開始から間もないものの、人気テレビドラマをはじめ、バラエティ番組やCM撮影、映画に至るまで、幅広くご利用頂いております。国際放映は、TMC-1スタジオを含め3つのHDスタジオ（200坪）を持ち、これからも多様化していく皆様のニーズに、より広く応えられるスタジオを目指してまいります。



# コンテンツ事業紹介



昭和23年に誕生した株式会社新東宝は「煙突の見える場所」などの文芸作品から時代劇、さらには怪談映画の最高傑作と言われる「東海道四谷怪談」まで幅広い分野において傑作、大作を次々と生み出しました。なかでも昭和32年に公開した戦争映画「明治天皇と日露大戦争」は記録的な大ヒットとなり、わずか13年余の間に世に送り出した映画は900本を超え、映画全盛の時代において大きな役割を果たしてまいりました。



昭和39年に商号を国際放映株式会社と変更してからは、これまでの映画製作で培ってきた経験を生かして次々と人気テレビドラマを製作してきました。そしてテレビ創成期から現在まで放送界を牽引してきた当社は、今年で創立60周年を迎えます。この間に製作した豊富なコンテンツを多メディアへ展開し、当社の良質な作品が埋もれることなく、時を越え、形を変えて甦らせることにも積極的に取り組んでおります。



当期は、テレビ作品「西遊記Ⅱ」、新東宝作品「細雪」「大阪の宿」など約30作品をDVDとして発売しました。また東京国際映画祭では「煙突の見える場所」「セクシー地帯」を上映、ロンドンのナショナルフィルムシアターでは「銀座化粧」を上映するなど、芸術文化振興の分野においても力を注いでおります。



葛西分室では映画・テレビ併せて1,000タイトル以上の素材を管理しております

### 当社が権利を保有している主な作品

新東宝作品 「憧れのハワイ航路」「アジャパー天国」「煙突の見える場所」「ひばりの三役 競艶雪之丞変化」「銀座カンカン娘」「恋文」「しいのみ学園」「地獄」「東海道四谷怪談」「ノンちゃん雲に乗る」「ハワイ珍道中」「明治天皇と日露大戦争」 他多数

テレビ作品 「あばれはっちゃくシリーズ」「一心太助」「美しい罫」「古い師みすず」「 cometさん」「午前三時のルースター」「西遊記」「サンキュー先生」「仕掛人 藤枝梅安」「私鉄沿線97分署」「女医・優～青空クリニック」「水滸伝」「天皇の世紀」「チャコちゃん・ケンちゃんシリーズ」「伝七捕物帳」「忍者部隊月光」「はるちゃん 3～6」「弁護士 朝日岳之助」「法医学教室の事件ファイル」「密会の宿」「YASHA-夜叉-」 他多数

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期(70期) (平成20年1月31日現在)	前期(69期) (平成19年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>789,904</b>	<b>959,435</b>
現金及び預金	314,734	325,585
受取手形及び売掛金	376,175	501,707
たな卸資産	52,527	103,073
繰延税金資産	4,596	13,867
その他	42,397	15,853
貸倒引当金	△526	△651
<b>固定資産</b>	<b>6,521,636</b>	<b>6,701,522</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>6,173,951</b>	<b>6,369,888</b>
建物及び構築物	3,272,155	3,474,248
機械装置及び運搬具	198,426	188,689
土地	2,677,062	2,677,062
その他	26,308	29,887
<b>無形固定資産</b>	<b>61,626</b>	<b>60,746</b>
借地権	59,571	59,571
その他	2,054	1,175
<b>投資その他の資産</b>	<b>286,058</b>	<b>270,887</b>
投資有価証券	5,900	5,900
繰延税金資産	28,494	30,143
その他	259,015	242,195
貸倒引当金	△7,352	△7,352
<b>資産合計</b>	<b>7,311,540</b>	<b>7,660,958</b>

(単位:千円)

科目	当期(70期) (平成20年1月31日現在)	前期(69期) (平成19年1月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>564,767</b>	<b>1,690,732</b>
買掛金	137,567	146,783
1年内返済予定長期借入金	120,000	240,000
未払法人税等	3,597	124,667
1年内返還予定長期預り保証金	120,000	990,000
賞与引当金	9,920	10,466
その他	173,682	178,815
<b>固定負債</b>	<b>4,342,696</b>	<b>3,599,916</b>
長期借入金	1,630,000	1,080,000
退職給付引当金	115,008	123,517
長期預り保証金	2,182,731	1,982,731
再評価に係る繰延税金負債	413,044	413,044
その他	1,912	622
<b>負債合計</b>	<b>4,907,463</b>	<b>5,290,648</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>1,784,510</b>	<b>1,750,742</b>
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	154,304	154,304
利益剰余金	556,465	516,963
自己株式	△26,259	△20,525
<b>評価・換算差額等</b>	<b>619,566</b>	<b>619,566</b>
土地再評価差額金	619,566	619,566
<b>純資産合計</b>	<b>2,404,076</b>	<b>2,370,309</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>7,311,540</b>	<b>7,660,958</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期(70期) (自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)	前期(69期) (自平成18年2月1日 至平成19年1月31日)
売上高	2,871,499	3,462,106
売上原価	2,116,657	2,425,358
<b>売上総利益</b>	<b>754,841</b>	<b>1,036,748</b>
販売費及び一般管理費	557,165	684,557
<b>営業利益</b>	<b>197,676</b>	<b>352,191</b>
<b>営業外収益</b>	<b>848</b>	<b>3,100</b>
受取利息及び受取配当金	434	280
その他の営業外収益	414	2,819
<b>営業外費用</b>	<b>28,001</b>	<b>20,199</b>
支払利息	27,682	19,029
その他の営業外費用	318	1,170
<b>経常利益</b>	<b>170,522</b>	<b>335,091</b>
<b>特別損失</b>	<b>41,673</b>	<b>—</b>
役員退職慰労金	7,200	—
スタジオ改修工事費用	32,953	—
賃借倉庫解約損	1,520	—
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>128,849</b>	<b>335,091</b>
法人税、住民税及び事業税	54,672	170,277
法人税等調整額	10,919	△3,174
少数株主損失	—	6,908
<b>当期純利益</b>	<b>63,257</b>	<b>174,897</b>

## 連結株主資本等変動計算書

(自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
平成19年1月31日残高	1,100,000	154,304	516,963	△20,525	1,750,742	619,566	619,566	2,370,309
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△23,755		△23,755			△23,755
当期純利益			63,257		63,257			63,257
自己株式の取得				△5,733	△5,733			△5,733
連結会計年度中の変動額合計			39,501	△5,733	33,767			33,767
平成20年1月31日残高	1,100,000	154,304	556,465	△26,259	1,784,510	619,566	619,566	2,404,076

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期(70期) (自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)	前期(69期) (自平成18年2月1日 至平成19年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,068	326,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,430	△55,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,489	△268,961
現金及び現金同等物の増減額	△10,850	2,111
現金及び現金同等物の期首残高	315,585	313,473
現金及び現金同等物の期末残高	304,734	315,585

# 単体財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科目	当期(70期) (平成20年1月31日現在)	前期(69期) (平成19年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	632,262	810,155
固定資産	6,540,600	6,746,659
有形固定資産	6,170,743	6,366,922
無形固定資産	60,925	59,958
投資その他の資産	308,931	319,778
資産合計	7,172,863	7,556,814
<b>負債の部</b>		
流動負債	483,218	1,630,981
固定負債	4,354,255	3,613,947
負債合計	4,837,473	5,244,928
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,715,822	1,692,319
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	154,304	154,304
利益剰余金	487,777	458,540
自己株式	△26,259	△20,525
評価・換算差額等	619,566	619,566
純資産合計	2,335,389	2,311,886
負債及び純資産合計	7,172,863	7,556,814

## 株主資本等変動計算書

(自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年1月31日残高	1,100,000	154,304	4,764	453,775	458,540	△20,525	619,566	2,311,886
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			2,375	△26,131	△23,755			△23,755
当期純利益				52,992	52,992			52,992
自己株式の取得						△5,733		△5,733
事業年度中の変動額合計	—	—	2,375	26,861	29,236	△5,733	—	23,503
平成20年1月31日残高	1,100,000	154,304	7,139	480,637	487,777	△26,259	619,566	2,335,389

## 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期(70期) (自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)	前期(69期) (自平成18年2月1日 至平成19年1月31日)
売上高	2,621,781	3,016,062
売上原価	1,921,475	2,135,428
売上総利益	700,305	880,633
販売費及び一般管理費	501,605	550,000
営業利益	198,700	330,633
営業外収益	3,160	2,877
受取利息及び受取配当金	2,836	2,597
その他の営業外収益	323	280
営業外費用	27,576	19,576
支払利息	27,576	18,921
その他の営業外費用	—	655
経常利益	174,283	313,935
特別利益	—	20,320
関係会社株式売却益	—	20,320
特別損失	42,704	—
役員退職慰労金	7,200	—
スタジオ改修工事費用	35,504	—
税引前当期純利益	131,579	334,255
法人税、住民税及び事業税	47,080	157,491
法人税等調整額	31,506	△4,384
当期純利益	52,992	181,148

# 会社概要／株式状況 (平成20年1月31日現在)

## 会社概要

商号	国際放映株式会社 (INTERNATIONAL TELEVISION FILMS, INC.)
設立	昭和23年4月26日
資本金	11億円
売上高	26億円(平成19年2月1日～平成20年1月31日)
従業員数	25人

## 役員 (平成20年4月25日現在)

代表取締役社長	新江 幸生
常務取締役	柴田 徹 (総務・管財・情報システム担当兼総務部長)
常務取締役	山野井 孝 (営業担当兼スタジオ事業センター長、關東京メディアエンタープライズ代表取締役社長)
取締役	浦井 孝行 (営業担当補佐兼映像企画部長、株ケイエッチケイアート代表取締役社長)
取締役	津屋 明彦 (経理・関連会社担当)
取締役	城所賢一郎 (株東京放送代表取締役専務)
取締役	中川 敬 (東宝(株)専務取締役、株東宝映像美術代表取締役社長)
取締役	千草宗一郎 (関西テレビ放送(株)相談役)
取締役	鈴木 克明 (株フジテレビジョン取締役)
常勤監査役	中村 建治
監査役	米井 誠一 (東宝(株)経理部長)
監査役	太古 伸幸 (東宝(株)グループ経営企画部長)

## 株式の状況

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	12,000,000株
当期末株主数	7,617名

## 大株主

(持株数(千株) 出資比率(%))

東宝株式会社	4,110	34.67
株式会社東京放送	1,378	11.63
株式会社フジテレビジョン	750	6.32
有限会社ノスケープ	500	4.21
東宝東日本興行株式会社	465	3.92
関西テレビ放送株式会社	350	2.95
九州東宝株式会社	350	2.95
東宝関西興行株式会社	310	2.61
東宝不動産株式会社	280	2.36
株式会社電通	240	2.02
計	8,734	73.68

(注) 1. 出資比率は、自己株式145,902株を控除して計算しております。  
 2. 東宝関西興行株式会社は平成19年12月1日付で商品事業部門を会社分割し、承継会社である東宝フーズ株式会社に当社株式を承継しておりますが、平成20年1月末現在で名義書換が完了となっております。  
 3. 平成20年3月1日をもって東宝東日本興行株式会社及び九州東宝株式会社がTOHOシネマズ株式会社に吸収合併されました。この結果、4月25日現在、TOHOシネマズ株式会社(東京都千代田区有楽町1丁目2番2号)の所有株式数は815千株となっております。

## 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
(株)ケイエッチケイアート	(百万円) 10	(%) 100.00	美術制作
(株)東京メディアエンタープライズ	10	100.00	映像ソフトの販売